

名称 所在地	用途 (令別表)	発生日時等	構造・階層 面積	焼損程度 (焼損面積) (延面積)	死傷者
スバル座  東京都千代田区有楽 町1丁目5番地	映画館  (1)イ	昭和28年9月6日	防火%	㊦・半・部・小	死者
		出火18時50分 覚知19時05分 覚知別報知電話 鎮火19時39分	建 721m <sup>2</sup> 延 1,073m <sup>2</sup>	1,032m <sup>2</sup> (96%)	0名 傷者 5名 (4)

I 火災概要								
①概要	スバル座が建築された当時は、映画館等の建築は禁止されていたが、GHQの意向により都知事が特別に許可した木造の大規模建築物で、アメリカ映画封切館として華々しく開場し、都民に親しまれて来た劇場であったが、上映中に物置から出火し全焼したものである。							
②階別状況	階	床面積 m <sup>2</sup>	焼損床面積 m <sup>2</sup>	用途(売場)	在館者	死者	避難設備等 消防用設備等	
	2	352.11	} 1,032	劇場	約250		<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内階段 2箇所 (1F～2F)</li> <li>・非常口 (1F～11箇所) (2F～4箇所)</li> <li>・縄梯子 1箇所</li> </ul> ⑧	
	①	721.38		劇場	約750			
	合計	1,073.49	1,032		約1,000	0		
	③出火場所	(階、室、部位、可燃物状況、居室・(非居室)、在・(不在)) 1階東側廊下の掃除道具入れの物置内には、塵取り、箒、バケツ等の道具と多量の紙屑が入っていたが、掃除人(2名)以外は立入らぬ場所であった。						④出火原因

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<p>(出火部位)                      (出火室の拡大)                      (他室への拡大)                      (出火階から他階への拡大)</p>			
	<p>1階東側廊下の掃除用具入れの物置からの出火した火は、可燃性の壁体及び天井に燃え移り、内壁が空洞であったことから、火炎の拡大を助長させ、更に隣接する観客席及び上階へと急速に延焼拡大し、全焼するに至った。</p>			
<p>○ 延焼拡大した主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発見、通報が遅れたため、出火から消防隊の放水開始まで20分以上経過している。</li> <li>○ 防火区画が皆無であり、内壁の主要部も合板という、火災には極めて弱い構造であった。</li> <li>○ 屋内消火栓が無く、初期消火は消火器のみであった。</li> <li>○ 煙の伝播経路 客席及び舞台部吹き抜け部分、それに階段より急速に煙が伝播した。</li> </ul>				
<b>II 火災建物概要</b>				
① 建築	<p>着工・竣工又は主たる改築等 (竣工) 昭和21年12月31日 ( ) 昭和 年 月 日</p>			
管 理 状 況	② 縦 穴 の 状 況		③ 防 火 管 理 状 況	
	<p>階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input checked="" type="checkbox"/>  エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/>  エスカレータ <input type="checkbox"/> その他(客席吹抜) <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>劇場であるため、大部分が吹抜け部であり、また、階段、ダクトスペースも区画されておらず、防火区画は皆無であった。</p>		<p>常日頃から防火管理に積極的であり、所轄消防署の指導を受けて機会あるごとに、避難誘導、初期消火についての訓練を実施していた。</p>	
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等		⑤ 消 防 用 設 備 等	
	<p>本建物は、外壁モルタル塗り、内壁の主要構造部と天井は合板とテックス、その上にドングロス張りであり、防火区画は構成されてなかった。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 設置されていた、消火器及び火災報知機は適切に管理されていた。</li> <li>○ 屋内消火栓及び自動火災報知設備を設置するよう指導(法的義務なし)されていたが設置費用等の関係で検討中であった。</li> </ul>	

III 火災後の行動						
① 発見状況	<p>○発見者 (映写技師2名) ○発見の動機 (爆発音及び火炎) ○発見後の行動 (映写を中止し、場内電灯を点灯)</p> <hr/> <p>午後7時01分頃、映写中の技師2名が、場内に爆発音を聞いたので直ちに、視窓から見たところ、1階客席左側便所脇の掃除用具等を格納している室付近に火炎を認めたため、火災を直感し、直ちに映写を中止し、場内の電灯を一齐に点灯した。</p>					
② 通報状況	<p>通報した <input checked="" type="checkbox"/> (出札口の女子従業員) 出火後約( 4 )分          しない <input type="checkbox"/></p> <hr/> <p>(第1報) 出札口勤務の女子従業員が事の重大さを感じし、事務室の電話で通報 (19時05分)。          (第2報) 支配人が観客の避難誘導をしながら場内に設置してある火災報知器で通報 (19時06)。</p>					
③ 初期消火状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">           消 火 し た         </div> </td> <td style="width: 35%;">           成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/>            ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/>            ○消火困難性 <input type="checkbox"/>            ○消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="width: 50%; vertical-align: top; padding-left: 10px;">           (理由又は状況)            火災を発見した時(出火後約11分)は、すでに火炎が拡大しており、また、消火設備として消火器しかないため効果は全くなかった。         </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">消火しない</td> <td>           ○消火時期 <input type="checkbox"/>            ○消火困難性 <input type="checkbox"/>            ○消火方法 <input type="checkbox"/>            ○その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">           消 火 し た         </div>	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 火災を発見した時(出火後約11分)は、すでに火炎が拡大しており、また、消火設備として消火器しかないため効果は全くなかった。	消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">           消 火 し た         </div>	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 火災を発見した時(出火後約11分)は、すでに火炎が拡大しており、また、消火設備として消火器しかないため効果は全くなかった。				
消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>発見と通報の遅延(出火から火掛り開始まで約20分経過している)から、先着到着隊(2隊)が内部侵入したときは、すでに濃煙が充満し、天井からの落下物が激しく侵入して2～3分後には出入口端までの後退を余儀なくされる状況であった。後着隊は、火点包囲の隊形で侵入しようとしたが、屋内は甚だ危険な状況のため、外壁注水、屋上注水を行っていたが、やがて屋根は吹抜け、火勢はますますし烈を極めてきたので、隣接家屋への延焼防止、飛火警戒へと、守勢防ぎょに主力を移行するに至った。</p>					

	避難方法	避難上支障事項																					
⑤ 避難状況	○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (250人) ○エレベーター, エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> ( 人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> ( 人) ○窓, 開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> ( 人) ○救助 <input type="checkbox"/> ( 人) ○その他( ) <input type="checkbox"/> ( 人)	○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>																					
⑥ 死者の状況	<table border="1"> <tr> <td>健康人</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>(泥酔者)</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>要保護者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>乳幼児</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>身体不自由者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>病人</td> <td>名</td> </tr> </table>	健康人	名	(泥酔者)	名	要保護者	名	乳幼児	名	高齢者	名	身体不自由者	名	病人	名	<table border="1"> <tr> <td>避難上支障となった事項</td> </tr> <tr> <td>○無窓 <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○開口部の格子等 <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)</td> </tr> <tr> <td>○停電 <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○その他 <input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	避難上支障となった事項	○無窓 <input type="checkbox"/>	○開口部の格子等 <input type="checkbox"/>	○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/>	○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)	○停電 <input type="checkbox"/>	○その他 <input type="checkbox"/>
健康人	名																						
(泥酔者)	名																						
要保護者	名																						
乳幼児	名																						
高齢者	名																						
身体不自由者	名																						
病人	名																						
避難上支障となった事項																							
○無窓 <input type="checkbox"/>																							
○開口部の格子等 <input type="checkbox"/>																							
○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/>																							
○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)																							
○停電 <input type="checkbox"/>																							
○その他 <input type="checkbox"/>																							
IV 問題点・教訓等	<p>1. 終戦後の法の空白期に建築された木造の大建築物であったため, 防火的な構造及び消防用設備等が皆無であった。</p> <p>2. 消防の指導により内装の不燃化, 自動火災報知設備及び屋内消火栓の設置について近く実施される予定であったが, これらが施工された後の火災であったならば, 防火管理状況からみて, 火災の早期発見, 及び初期消火において効果があり被害を最少限度に防止できたと思われる。</p> <p>3. 従業員の判断及び避難誘導が適切であったことと, 出入口, 非常口が数多くあったこと等により, 観客に1人の負傷者もなく避難させることができた。</p>																						

